

木材活用を進める社会づくり

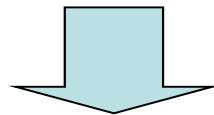
木材活用を進める社会システムづくり

林業の再建、森林の保全・整備は、林業、山だけで考えるのではできない。

補助金頼りから脱却し、経済の循環に乗せて考える必要がある

地域材を使うことについて、調達・管理に対する課題(=不安の元)を、川上(森林組合・林業)、川中(製材・乾燥・加工業)、川下(設計者・発注者)間の情報流通と連携により、共同で考えることが不可欠

木の建築づくりの社会システムの再構築が必要



- 現状や事例の把握(情報収集)
- 発注者や設計者のサポート(情報提供)
- 木材調達のコーディネーターの育成
- プロジェクト全体をマネジメントできる設計者の育成

森林の保全・整備には、山にお金が還元する仕組みづくりが必要

付加価値の高い木材活用ー建築材としての利用

木材を使い切るシステムー木質バイオマス

→持続可能な地域づくり

地域の核となる木の学校づくり 意義、喜びを高める

製品：木の家具

お母さんたちと同じ目線で作りたい

遠野産木材で作る 新しい学校の 提案



遠野商工会

遠野だからできる理想の、『木の学校』づくり

遠野市には、木や木材の利用に関わる全ての企業が集まり樹森林のくに遠野・協同機構を組織しています。木材の供給から、製材、加工が可能だけでなく、各企業がプロの技術集団であることのメリットを活かし、理想の学校づくりのサポートが可能です。

木の学校づくりに向けてのステップ



製品：間伐材を生かしたストランドボード

福井市立至民中学校



ヒノキ間伐材の
ストランドボード

木質バイオマス

- 地域と木質バイオマスを繋ぐことによる自律的な地域づくり
- 小集落単位の熱利用のバイオマス 災害時に
- 外に払っていたエネルギー代を地域で生かす
- ごみをたからに

木質バイオマスの検討課題

- ① 一定のエリアでの木材調達の可能性
チップの運搬距離
- ② 地域が必要とする熱需要
地域ごとに最適なスケールを見出す
大規模バイオマス発電の課題
事業者として製材工場等の木材産業
- ③ 残材利用を促す カスケード利用
林業資本が現地でチップ生産等
- ④ 排熱の利用





木の建築は志

- * 日本の林業は本当に経済的に持続可能なように管理されるのか
- * 再造林＋再育林可能な価格で山にお金を返せるのか
- * バイオマス利用も含め、行政、関連業界にその意識・覚悟があるか
- * 最終需要家でもある普通の日本人にその意識・覚悟があるのか？





「学校は教育施設ではない。学校は学校だ」

よくある質問に対して

1. 外装などへの木材使用に係る留意点
紫外線、雨がかりに対して、使用箇所、塗装、軒・庇の出、補修・取替え易い設計
2. 木材の耐久性を持続させる方法について
使用部位に対する適材適所、適時のメンテナンス、生物材料の木とのつきあい方
3. 木材の耐水性を向上させる方法、耐水性の強い樹種
適切・適時の塗装・改修、適材適所、取り替え・改修の容易な設計－使用箇所
4. 使用木材量のうち地元産（県産品）の割合と、他地域産のコスト比較の有無
 - ・意義：森林の整備促進、森林の公益的機能の増進、地域の活性化、ウッドマイルズが小さい、木造施設への愛着
 - ・問題点：需要量に対して供給量が少ない、流通が複雑で高コスト、乾燥材の供給割合が小さい、県産材利用の理解
 - ・地元産材の供給能力－材量、材種、乾燥・製材・加工能力の把握
 - ・県産材から圏産材（安藤）へ、仮想流域（東洋大WASS）へ－地域材を使うことの意義を堅持しつつ無理をしない
 - ・顔の見える関係で他の地域とつながる－マイレージ、植林・育林、教育活動への活用
 - ・川下の情報把握により需要にあった伐採、製材の対応、材種製材・加工能力を把握した設計
5. 周辺小中学校との施設の連携や移転・合併・改築の方法をとらずに、あえて小規模校のままで小学校として残した経緯、木造校舎故の維持管理の方法（防腐、防蟻、防水等）
 - ・学校とは－日常の地域の活動の場、災害時の避難場所、気持ちのつながり、地域の核としての存在・役割
 - ・教育とは－地域の空間で、地域ぐるみで、地域の文化・自然・歴史・生き方等を伝え、地域を担う人材を育てる
 - ・耐震補強、改修と同時に、教育機能、環境性能等質的向上を図る。傷み方を見れば対策を考えられる
6. 木造計画・設計基準、木造施設の耐震改修等について
木促法への対応の動き-木造計画・設計基準（国土交通省）、木造校舎の構造設計標準（文部科学省）
7. エコ改修施設の内容について
 - ・エコスクール－優しくつくる、賢く・永く使う、学習に資する
 - ・事業メニュー：新エネルギー活用、省エネルギー・省資源、自然共生、木材利用、資源リサイクル、その他
 - ・木材活用はメニューの一つ、太陽光発電設備と並んで最も多く採用されている実績
8. 学校建設の際の助成制度・木材活用の利点
 - ・国 文部科学省－公立学校施設整備費・コスクール、農林水産省－地域材の導入、環境省－地球温暖化対策、経済産業省－新エネルギー導入
 - ・県 県産材活用